

G3 のツイッター その 12

烈剛河内 竹井 保満

過日、沖縄の大先輩から、亡くなられた御母堂の偉大なお話を承り、大変感動いたしました。

私の母も 18 歳で嫁に来て以来、過酷な農作業をこなしながら、三男二女を育て上げ、終戦で中国から引き揚げてきた、甥や姪まで育ててきました。母性愛のある女性でなければならないことです。

三月十四日（土）はホワイトデーだそうです。

バレンタインデーのチョコレートのお返しと、日本の菓子メーカーが作った行事だそうです。今年は、生まれ故郷の岡山の方を向いて、生きて居れば百十一歳のおふくろに感謝して、赤ワインを捧げ、祭り寿司でもいただきます。

女性は、元来、おとこどもより、すばらしい天性を備えています。不敬罪などと目くじらを立てずにお読みください。

万世一系とか、男系の男子云々とか言われますが、日進月歩ならぬ、時々刻々の速さで人間の仕組みが解明されていくのには驚きますが、その一つ、我々の細胞内にあるミトコンドリアは母系直系です。女性の卵子が受精した瞬間に精子が持っていたミトコンドリアは消滅して無くなります。つまり、生まれてくる子供はすべて母系のミトコンドリアです。ミトコンドリアは、ミトコンドリアだけの DNA を持っているのだそうです。この DNA もまだ一部しか解明されていないそうですが、大変な仕事をしています。筋肉内のミトコンドリアは私たちアスリートにとって必要な ATP（アデノシン三リン酸）を作る化学工場であり、カルシウムの貯蔵庫でもあり、酸素を消費するために肺に呼吸を促す脳の役割を果たしてるのだそうです。

前記の卵子の話ですが、女の赤ちゃんは母親から卵子の元、原子卵胞を約 200 万個も貰って生まれてきます。

男性の精子は、思春期から自分で作られるので根本的に違うのです。

ある記事の受け売りですが、『仲の良いご夫婦がいました。夫婦には三人の息子さんがおり、長男と次男はハンサムで、学力も秀でており、三男はハンサムでもなく、学校の出来もよくありませんでした。その家庭で、奥さんが不治の病にかかり、医師から余命いくばくもないと告げられました。旦那は、奥様に最後に聞きたいことが有る、怒らないので本当のことを言って欲しいと切り出しました。

「三男は上の子と違い出来が悪いが、本当に俺の子供か」

すると奥さんは乾いた口を重そうに開き

「三男だけがあなたの子です」と』

世の男ども、やはり女性には勝てないでしょう。年中ホワイトデー女性万々歳。